

TAP式・不動産E&Eノート

不動産を不動産にしないために、財産を罪産にしないために
時間のあるときにご所有の不動産について考えてみませんか？

不動産は永続的なものです。
基本的にはずっとそこに存在し続けるもの。



しかし、人の一生は限られています。
ですから、所有している不動産は必ずどこかのタイミングでどなたかに引き継いでもらうこと
になります。

売買という形でどなたかに引き継いでもらうこともあれば、相続で親族に引き継いでもらうこ
とになることもあります。引き継いでもらうからには、引き継いでもらう人にその不動産のこ
とをよく知ってもらう必要があります。

そのため、お時間のあるときに、ご所有の不動産のことについて情報を整理して、不動産を引
き継いでもらう人に不安がないよう、準備を進められることをお勧めします。
そのとき、情報整理の第一歩をお手伝いするツールが、不動産の出口と終わりを考えておいた
ための、「TAP式・不動産E&Eノート」です

大まかな情報整理 → 資料収集 → ご自身の方針確認 → 専門家を交えた方針の決定
の4ステップで成り立ちますが、まずはファーストステップから始めてみましょう。
また、身近に頼れる専門家がいらないか、確認してみましょう。

(注)個人でのご利用に限りです。無断転載・配布はご遠慮下さい
©2020 TAP株式会社

TAP式・不動産E&Eノート

STEP1 所有不動産についてまとめてみましょう(一物件毎に)

物件
No.

①所有する不動産について紙に書き出してまとめてみましょう。

(ア)住所・所在

例)〇〇県〇〇市〇〇1丁目2番3

(イ)家屋番号

例)2番3 ※建物の登記がしてあれば家屋番号があります。

(ウ)登記簿上の所有者 ※不動産登記に記載されている所有者です

(実際の所有者と異なる場合は所有者名も記載しましょう)

②その不動産について知っている限り年表にまとめて見ましょう

- ・不動産購入時期 ・建物の新築、増改築、取壊 ・居住する家族のできごと
- ・その他(庭木を植えた、塀を作った、井戸があった etc)

STEP1 の情報整理ノートです。
STEP2 以降に進まれる方はお問い合わせ下さい。

(注)個人でのご利用に限りです。無断転載・配布はご遠慮下さい
©2020 TAP株式会社